

### <対策のポイント>

水産改革の方向性に従い、**内水面漁場を有効かつ効率的に活用する体制の検討**と、ウナギ等の**内水面資源の回復と適切な管理体制の構築**を推進します。

### <政策目標>

主な栽培対象魚種及び養殖業等の生産量の増加 (1,739千トン [平成34年度まで])

## <事業の内容>

### 1. やるぞ内水面漁業活性化事業

- 広域的な**内水面漁場管理**や**内水面漁業活性化**の方策を総合的に検討するとともに、**内水面漁場管理のモデル**となる先進的な取組を支援します。

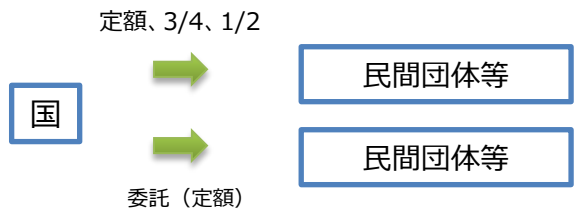
### 2. 内水面水産資源被害対策事業

- 内水面漁業者が行う**カワウ・外来魚駆除活動**等を支援します。また、**ドローン等を活用した低コスト・効率的な内水面水産被害防止のための技術開発**を推進します。

### 3. ウナギ等資源回復推進事業

- 河川における資源回復を図るため、内水面漁業者が行う**生息環境改善**の取組を支援します。また、河川における**効果的な放流手法**の検討等を実施します。
- 持続可能な鰻養殖を推進するため、養鰻業者等が行う**資源管理のための取組**を支援します。また、**シラスウナギのトレーサビリティ手法の確立**を図るとともに、**ウナギ種苗の商業化に向けた大量生産システムの実証**を行います。

### <事業の流れ>



## <事業イメージ>

### 1. 内水面漁場の効率的な管理手法確立と全国展開

実際の監視業務風景

実際の監視画面

6月21日九郎電川 (勝山市漁協)監視画面

参考：ICTを活用した漁場監視の例

### 2. 内水面漁場の有効活用を阻害する要因の低減

カワウの駆除活動

ドローンによるカワウ対策技術開発

オオクチバスの駆除活動

### 3. ウナギ等内水面資源の緊急的な回復

生息環境改善 (石倉増殖礁)

効果的な放流手法の検討等

シラスウナギトレーサビリティ確立

シラスウナギ人工種苗生産

内水面水産資源の回復・安定供給の実現

【お問い合わせ先】 水産庁栽培養殖課 (03-3502-8489)  
水産庁研究指導課 (03-3502-0358)<sup>※</sup>

※ ウナギ種苗の商業化に向けた大量生産システムの実証のみ